

科目名		授業形態	担当教員名	
スポーツ障害理学療法学		講義・実習	中山 伸治・藤 信太郎	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>スポーツ活動は、幼少期の心身機能の向上、中高年の健康維持・増進、QOL向上、トップアスリートの記録更新・勝利など様々な目的で行われている。スポーツ活動で効果や結果を出すためにはトレーニングレベルの向上が必須であるが、向上すればするほど、障害・外傷のリスクに逆に非常に高くなり、スポーツ活動を継続できなくなる選手や愛好家が多い。</p> <p>本講義では、前半にスポーツ障害・外傷の原因とメカニズム、一般的なケア（ストレッチング、アイシング、テーピング）等について、後半は上肢、体幹、下肢の代表的なスポーツ障害・外傷の発生機序、病態を学習する。</p>				
授業の到達目標				
スポーツ障害のリハビリテーションの知識と技術を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	スポーツ障害・外傷概論 【中山】			
2	アイシング講義 【中山】			
3	アイシング演習 【中山】			
4	ストレッチング演習 【中山】			
5	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肩関節①）【中山】			
6	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肩関節②）【中山】			
7	上肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（肘関節）【中山】			
8	体幹のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション 【中山】			
9	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節①）【中山】			
10	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節②）【中山】			
11	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節③）【中山】			
12	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（膝関節④）【中山】			
13	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節①）【藤】			
14	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節②）【藤】			
15	下肢のスポーツ障害・外傷のリハビリテーション（下腿・足関節③）【藤】			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	講義割合から問題割合を出す。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
改訂版 スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション	園部 俊晴 他		運動と医学の出版社	
クライオセラピー～スポーツ外傷の管理における冷却療法～	ケネス・L・ナイト		ブックハウスHD	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				